

# スマートフォンを手に

## 「中山道桶川宿」を再発見

現代の都市桶川は、中山道桶川宿から続く歴史を積みかさねてきました。

今、私たちが目にする街の姿から歴史を読み解く道案内として、「にっぽん風景なび」アプリをご利用ください。



### にっぽん風景なびとは



App Store



Google Play

「にっぽん風景なび」は、桶川市歴史民俗資料館で運用している博物館支援システムから生まれたスマートフォン用のアプリです。このシステムは全国で200を超える博物館で使われています。

歴史民俗資料館がもつ歴史や文化を物語る資料と桶川の歴史を伝える場をインターネットで結び、訪れる皆さんがもつスマートフォンを、歴史を旅するナビゲーションとして活用してください。

※ アプリは無料でダウンロードできますが、通信費が発生します。

### コンテンツのご案内

桶川市歴史民俗資料館は、「台地と道」をテーマとして活動しています。「台地」とは文化を育む生活の舞台を、「道」とは文化をより豊かにする文物の交流を意味しています。

現代の「道」であるインターネットを通して、桶川市の歴史と文化の情報を発信するために、「にっぽん風景なび」を活用しました。現在、公開しているコンテンツは以下のとおりです。

#### 「古絵図に見る中山道桶川宿」

江戸幕府が作った「中山道分間延絵図」、市指定文化財「桶川宿古絵図」に描かれた桶川宿内各所の姿と現代の風景をあわせ、歴史の解説を加えました。

#### 「中山道桶川宿の歴史を伝える文化財」

中山道にそって古建築などの歴史を物語る文化財を数多くみることができます。見学の道しるべとともに、文化財を理解する情報を紹介します。

#### 「徳松さんの散歩道」

明治時代末期に桶川町にやってきた武村徳松さんは、感動した風景を水彩画に描いています。徳松さんが歩いた道を作品とともに紹介します。

#### 「桶川町の風景回想」

近代桶川町の風景を伝える写真を、撮影されたところの現代の姿とともに紹介します。古写真は、街の移り変わりを知る貴重な資料です。

#### 「桶川祇園祭」

毎年、7月15日と16日には、中山道桶川宿から続く桶川祇園祭が行われます。祭を楽しむ町の人びとの姿を、祭の日の中山道とともに紹介します。



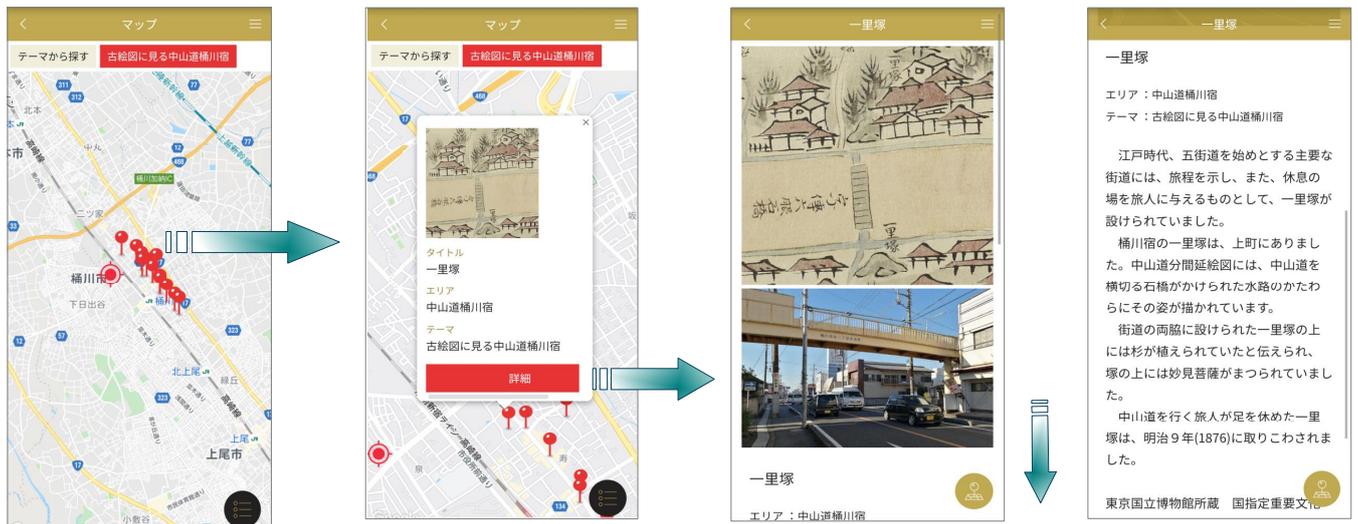
## 利用の手びき

トップページ「地域を選ぶ」から埼玉県桶川市を選び、さらに「コンテンツ選択画面へ」をタッチし、探し方を選択します。例として、「テーマから探す」から「古絵図に見る中山道桶川宿」を選択してみましょう。



### 【マップからコンテンツを開く】

マップが表示されるので、スワイプしてマップをひろげてピンをタッチするとコンテンツへの案内がしめされます。「詳細」をタッチすると、説明のコンテンツがひらき、スクロールすると全体をみることができます。



### 【一覧からコンテンツを開く】

「中山道桶川宿の歴史を伝える文化財」を例に、画面右下の ⓘ をタッチするとコンテンツの一覧がひらきます。表示されたコンテンツの画像をスワイプすると拡大することができます。📍 をタッチすると地図に位置が示されます。



問い合わせ：桶川市歴史民俗資料館 電話048-786-4030

HP：<https://www.city.okegawa.lg.jp/soshiki/kyoiku/rekishi/index.html>